

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・現在の利用者人数では適切である。さらに人数が増加する際には考慮していく。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・利用児童一人一人に対応すべきサービスのより充実を考えると、利用人数が10人を超える際は職員数を増加する方が望ましいと考える。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・該当児童は現在、いないが、より安全性を考えスロープを玄関に設置している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・職員が少人数のため、業務上の課題を共有しやすい。今後、さらにPDCAサイクルによる目標設定と振り返りを充実させていきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者会を定期的に開催している。毎月発行のおたより、月行事予定表を通じて保護者に事業所の取り組みを紹介している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・おたよりを通して、保護者に結果を伝え、課題解決にむけて協力を得るようにしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者を設定していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・研修会には、職員が交代で参加するとともに、研修で学んだことを全職員で共有するようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・利用者児童の面談、モニタリングを充実し、子どもたち一人ひとりのニーズ、課題を把握することによって支援計画を作成する。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・利用者児童の適応行動の状況を把握するために使用しているが、さらに充実していくことが必要だと考える。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		・活動プログラム作成に当たっては、日常的に職員の声を大切にし、作成しているが、さらに全職員の総意をもとに作成するようにしていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・毎日、今日の活動内容を変化させている。子どもたちの実態をもとに新しい活動内容を取り入れるようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・毎日の活動予定を月事に作成している。さらには、活動計画案を細かく作成していくことが必要と考える。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		・子どもの実態に応じた個別活動、集団活動を考えて行っているが、さらにこれらの計画を充実させていくことが必要であると考え。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎日、支援開始前に打ち合わせを行い、役割分担を明確にしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・業務終了時間が、職員によってずれがある。各自が担当児童のケース記録を作成し、特に問題がある場合は全員に伝えるようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		・毎日、全職員が担当児童のケース記録の作成を行っている。これをもとに子どもたちの気になることをお互いに共有するようにしている。今後はこれらのケース記録を生かして、支援の改善に生かすようにしていく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・モニタリングを定期的に行い、全職員での共有を図り支援にいきるようにしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・ガイドラインの総則に沿った支援を行っているが、基本活動を複数組み合わせ支援を充実させていくことが必要と考える。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・毎回、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加している。

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・学校行事、下校時刻の確認を十分に行い、特に下校時間の変更には学校との連絡を綿密に行い対応している。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・現在、とくに医療的ケアが必要な利用児童はいないが、衛生上、健康上の注意が必要な子どもについては保護者と綿密な連携を図っている。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・就学前の状況把握に努めているが、さらに就学前に利用した保育所、幼稚園等との情報の共有を行っていききたい。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・まだ、該当者はいないが、今後、学校を卒業して障害福祉サービス事業所へ移行する利用者が出たときは、支援内容の情報提供を行っていく。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・今後は専門機関との連携した助言や研修の機会を作っていくようにする。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・地域の図書館や公園を活用することを通して、障害のない子どもたちとの交流の場を設けている。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		・今後、さらに第三者による外部評価を充実していきたい。地域自立支援協議会等への積極的な参加を考えていきたい。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡ノートや送迎時に直接、その日の様子を保護者に伝えている。連絡ノートでは、保護者から家庭での様子も伝えてもらっている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・子どもたちの支援だけでなく、さらに保護者へペアレント・トレーニング等の支援を行っていく。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・保護者会を設け、運営、支援内容等を説明している。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者から子育ての悩み等に関する相談を受けた場合、丁寧に対応し、助言を行っている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・コロナウイルス
非常時等の対応	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・連絡帳、電話等で保護者から苦情があった場合、できるだけ早く対応するようにしている。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・連絡帳、毎月のおたより、モンキーポッドの樹のホームページなどを通して、保護者との交流を深めるようにしている。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の取り扱いには、全職員に徹底して留意するようにしている。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・とりわけ言葉で意思を伝えることができない子どもたちには、絵カードを用いたり、動作や表情など些細なことに気を付けて意思疎通が行えるようにしている。
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・今後、事業所の行事に利用児童の祖父母、地域の方々を招くように努めていく。
	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・緊急時におけるマニュアルを充実させていく。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・防災市民センターでの地震、火災等の防災体験を経験するとともに事業所内で定期的に避難訓練を行っている。
非常時等の対応	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・日々、全職員で虐待を防止することをみんなで確認している、さらに研修会を充実していく。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・現在、該当する利用者児童がないが、体罰に当たる身体拘束しないことを全職員で共有している。また、やむを得ず身体拘束を行う場合は必ず保護者への報告や記録を徹底して行うよう職員間で会議を行っている。

⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・現在、該当する児童がいないが、食物アレルギーの有無に関係なく食べ物に関する情報を把握している。今後も十分な情報を把握し対応していく。
⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットを作成するための参考資料を準備して、職員がヒヤリハット作成の際に参考にするようにしている。